

2020 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	平尾台二丁目自治会・平尾台自主防災組織会
活動テーマ	大災害に対する地域防災・要援護者支援ネットワークの構築



【目的】

宇治市平尾台では、黄檗断層のほか、複数の活断層に近接している上、南海トラフ大地震等も助成すると、高い確率で大地震が起こると予測される。本活動の目的は、大地震時の住民の被害と混乱を最小限に止めることにある。

【方法と成果】

① 地域住民相互の信頼関係に基づく防災ネットワークを構築

自主防災組織会(当防災会)は、これまで、「地域は地域で守る」の基本理念に基づき、子供・青壮年・シニア三世代のコミュニティー構築を目指して、各種自治会活動ならびに防災行事体験を共有して、住民の防災意識を高め、三世代の絆(信頼関係)に基づく防災ネットワークを構築してきた。

令和2年度も当初防災出前講座、各種防災訓練等を計画していたが、コロナ禍のため安否確認訓練のみを実施した。

また、三世代コミュニティー構築については、花壇新設事業を三世代の参加の下に行い、その強化を図った。

② 防災用品の備蓄充実 平尾台二丁目・三丁目自治会では、それぞれ、防災倉庫を設置し、災害対策備蓄品の充実を図ってきたが、次の二つの問題が生じた。1)各防災倉庫が手狭になった。2)防災備品の充実に必要な資金が自治会の会費だけでは賄いきれない。この二つの問題を、一挙に解決したのが、本助成金であった。

【貴財団の助成による事業と成果】

本助成金により行われた次の事業は、地域住民のコミュニティーの強化と、コロナ禍中での高い防災意識の維持向上、さらには避難生活の質の飛躍的向上に大きく貢献した。

1)大型防災倉庫を地域一時避難所の平尾台第4児童公園に設置。

2)発電機2基をはじめとする防災備蓄品の充実と要援護者への支援ネットワークの構築。特に自宅療養者医療機器のバッテリーの充電も可能にした。

3)これらの活動内容と成果は、周辺自治会は無論の事、遠方の自治会からの問い合わせも多く、他の自治会への波及効果も大きいものがある。